

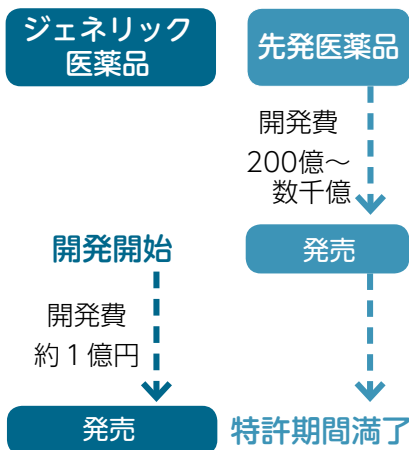
家計を節約したいあなた！

ジェネリック医薬品を御存じですか？

皆さんの中には、「ジェネリック医薬品を使用すると、お薬代を節約できるけど、安い薬は少し不安」という人もいるのではないのでしょうか。そんなジェネリック医薬品の疑問に、薬剤師が答えます。



問い合わせ／国保年金課 ☎55-2917 ☎51-2521 📧ho-kokuho@div.city.fuji.shizuoka.jp



Q なぜ安くなるの？

A 研究開発に要する費用が少ないからです。

新薬開発に関する費用が1品目につき200億円以上かかるのに対し、ジェネリック医薬品は1億円程度におさまるとされています。また、先発医薬品の使用経験により、有効性・安全性がある程度確立していることから、情報提供に関する販売管理費も少なくなり、安くなります。

Q ジェネリック医薬品とは？

A 厚生労働省が先発医薬品と同等と認めた薬です。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許が切れた後に販売されます。先発医薬品と同じ有効成分を同量含み、同一経路から投与する製剤です。効能・効果、用法・用量が原則的に同一で、先発医薬品と同等の臨床効果や、作用が得られる医薬品です。

Q 「安い薬＝効かない薬」なの？

A 効き目は同等です。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分、同等の効能、安全性を有することを、厚生労働省から認められなければ販売できません。

Q 原材料(原薬)が海外で製造されているようですが、安全なの？

A 海外の原薬(有効成分)は先発医薬品でも使用しています。

海外からの輸入による原薬は、ジェネリック医薬品だけでなく、先発医薬品にも使われています。また、さまざまな試験や承認審査の段階で、原薬と製剤それぞれの品質が、ともに先発医薬品の品質と同等かそれ以上であることや、製剤の安全性を審査し、問題ない医薬品のみが承認されます。

Q 子どもが服用する薬は、先発医薬品の方が安全なの？

A ジェネリック医薬品の安全性は、先発医薬品と同等です。

先発医薬品は、少なくとも10年以上は流通します。その間に副作用のある薬は流通しなくなります。その後ジェネリック医薬品がつくられるため、むしろリスクが低いと言えます。

また、ジェネリック医薬品の中には先発医薬品よりも飲みやすく工夫された薬もあります。

ジェネリック医薬品は、医療を受ける人にも健康保険制度にも必要です

医療技術の進歩や高齢化の進行などにより、今後も医療費の上昇が見込まれる中、誰もが医療を受けられる制度を守っていくため、必要な医療の質を確保した上で効率化を図ることが重要です。

先発医薬品との代替可能な低価格のジェネリック医薬品を使用すると、医療の質を落とさず、皆さんの薬剤費負担を軽減できます。

また、子どもの医療費の薬局での負担額は、助成制度により無料となりますが、ジェネリック医薬品の使用により公的負担が軽減するなど、医療財源の効果的な活用につながります。

ジェネリック医薬品の処方希望する人は、かかりつけの医師へ気軽にご相談ください。

※効果・効能などが先発医薬品のみなどの理由でジェネリック医薬品への変更ができない薬もあります。



薬剤師 中村 友志さん 曾根 啓紀さん